

# あすなろ



安土山より西の湖を望む

**女性会ホームページをご覧ください。**

- メンバー紹介 ●おじゃまします
- 活動レポート ●スケジュール 等を掲載しております

<http://8woman.net>

発行所 近江八幡商工会議所女性会  
住所 近江八幡市桜宮町231-2  
TEL 0748-33-4141/FAX 0748-32-0765  
ホームページ <http://8woman.net>  
E-mail [info@8woman.net](mailto:info@8woman.net)  
発行責任者 会長 随井 佳子  
編集責任者 広報委員長 太田 悦子

# 萬里無片雲

近江八幡商工会議所女性会

会長 随井 佳子

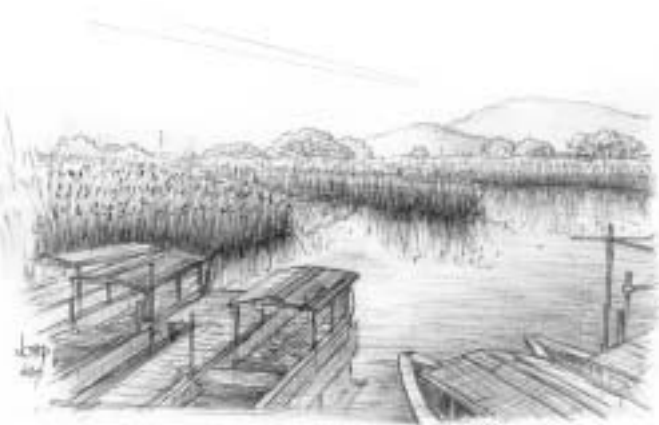


暑すぎた夏も終り花薄が美しく、ゆかしく  
かるやかに秋風に、ゆれ動く風情あふれる景  
色が日常の喧騒を滅殺しながら心の琴線にふ  
れ癒しをおぼえます。近江八幡商工会議所女  
性会もおかげさまで早や十八年の歴史を積み  
重ねて参りました。今は亡き初代村井会長の  
女性会への熱い思いや力が今更に身に沁みま  
す。美しく咲く花の根の恩を知れとよく云わ  
れます。女性会は日本経済界の唯一、大きな  
団体であります。

女性の力がぐわしく 生産の灯りを守り  
女性の力がぎりなく 商いの交わりひろげ  
女性の力逞しく 新しい人の和築き  
理想は高く、資質向上につとめ心豊かな商  
工会議所女性会を座右の銘として活動してい  
ます。「海、山、富山の幸でもてなし」の  
第三十九回全国商工会議所女性会連合会富山  
総会に三役で出席し、九百十名の仲間の熱気  
と躍動するパワーに感動・感激致しました。  
経済界において、ゆるやかな上昇傾向が見

られると挨拶がありました。地域格差が大  
きく、自らの手で切り開きつつ人生三つの坂  
のまさかの坂に期待を寄せるものです。近江  
八幡商工会議所は、持続可能な社会発展を目  
ざして、この度エゴイノベーションモデル都市  
へむけて「近江八幡二〇二〇フォーラム」を立ち  
上げられました。地球温暖化の切実な問題の  
中この取り組みは、企業経済上必要な課題で  
高齢社会少子化と共に、安全、安心な街づく  
りが企業発展につながる原素なのでしょう。  
人と自然、歴史、文化が経済の活性化や地域  
の発展にと、つながることを期待してやみま  
せん。新聞紙上を賑わしております様々な情  
勢の昨今、萬里片雲無しの言葉が脳裏に浮か  
びます。その言葉には表と裏の深い意味がこ  
められています。雲一つなく晴れ渡った清寂  
清浄の心が得られるという教え、喩えであり、  
無欲で情勢に左右されずに悠然とした心で日々  
精進に心がけていきたいものです。近江八幡  
商工会議所女性会も心に余裕を持つて心を一

つにして、今一歩進めた改革に取り組み肅肅  
と、おし進めてゆければと念じるものです。  
近江八幡商工会議所女性会が好き、女性会  
で育ち、女性会で和み、女性会で伸びる、女  
性会を詠う、女性会を愛し、そして、美しい  
ものを、美しいと云える心が美しい!!  
きらめき、煌めき、きらめく女性会です。



萬里無片雲(ばんりへんつうなんし)

萬里とは萬里の空、萬里の天にたとえるわが心のこころ。片雲とは、  
一片の浮き雲のことわが雑念妄想のたとえ。  
残暑もようやく終わり秋風が涼しさを運びきて、雲をはらうように  
雑念、煩惱で覆われていた心も、苦悩のときを乗り越えて修行の成果  
を見るにいたった。もはや煩惱の影も消えうけて心は澄み、この秋の  
空のこころ、萬里の天に一片の雲も無きような、そんな心境を表す詩

「日々新たな気持ちで！」

長浜商工会議所女性会 会長 下村 千代子

今年は例年になく、猛暑に見舞われ、また蒸し暑い日々が続きました。

近江商人の歴史あるまちで、ひと際輝きながら活動をつづけておられます近江八幡商工会議所女性会の皆様には、益々ご隆昌のこととお喜び申し上げます。

一昨年より、県内女性会の活動の末席に入らせていただき、長年活動に培ってこられました先輩女性会の方々の、ご指導を一心に受け、色々と迷いながらも、会員一同日々新たな気持ちで事業に取り組みさせていただいております。

この度、ご縁がございまして、貴機関紙に寄稿させていただくことになり大変うれしく思っております。

もとより、近江八幡市と私達の住む長浜市とは、沢山の共通した歴史の足跡があります。戦国武将が日々戦いにまみれ、そして商いの活動が活発化、商人達や町衆の汗の結晶によって町並みが形成され、今に残る歴史・文化を

持った町となりました。

先日、昨年一年間に県内を訪れられた観光客は延べ四千六百五十万人だったことが県の調査で報じられました。

長浜市の「黒壁ガラス館」、近江八幡市の「八幡堀」西の湖水郷風景「近江商人の町並み」などを訪れた多くの観光客が「自然」「文化」「歴史」にふれあい、心豊かな思いに胸のときめきを覚えたと感想を伝えておられます。先人の方々が築き上げた「自然」「文化」「歴史」を後世に引き継ぐことに多くの方々が誇りを持っておられます。

その中であつて、私達女性会も女性としての目線で商工業の振興、地域社会への貢献をする事も大切とは思いますが、繊細な感性によつて地域文化を育む役割があるのではないかと思います。

朝のドラマの中の台詞で「心のこもつた持て成し」「お客様の気持ちを大切に」と毎朝発せられました。台詞を聞きながら「ハッ」

とする場面が家庭の中、仕事の中、商売の中、地域社会の中で境遇いたします。女性会事業の活動を通して同じです。

昨年私達は、自分の住んでいるまち、そして湖北周辺地域の「自然」「文化」「歴史」を自分達の目線と、お客様の目線の両面から見るために、湖北周遊シャトルバスにのり一日巡ることを致しました。大変有意義な一日でした。

再発見・再確認する事が沢山あり大変勉強になりました。「知っているようで、知らない事ばかり」との会員の声を聞きました。

女性会を始め、多くの組織団体が各々の目的と目標、そして事業活動を実施されています。私も女性会の一員に加入させていただき、日々新たな気持ちで、朝・夕、身を引き締めて仕事と家庭を守っています。

再発見、再確認、そしてチャレンジ、これが女性会事業の原点ではないかと、日々考へつつ運営しています。

寄稿のお許しをいただきました随井会長様を始め、近江八幡商工会議所女性会の皆様のご健康、ご活躍を祈念申し上げます。ただ、感謝の気持ちを忘れずに筆を置かせていただきます。

# 当社三十周年を迎えて

小林 英代

記録的な猛暑に見舞われた今年の長い夏も終わり、朝夕は涼しくなりあちこちから聞こえてくる虫の音に耳を向けると、ようやく秋のおとずれが実感できる今日この頃となりました。

経営しております会社「株式会社モアエントアプライズ」が今年の十二月に創業三十周年の節目を迎えることが出来ました。

昭和五十二年十二月十五日に近江八幡の若葉町のドリームマンションの一階にわずか十坪ほどの小さな美容室「カットハウスモア」一号店をオープンしましたが、月日の流れは早いもので、もうそれから三十年が経ちました。

とても雪の多い年だったと覚えていますが、二人の子供と仕事を抱えながら、子供を育てる責任とほんまもんと認めてもらえる仕事をどちらも両立させていく決心をしました。

美容の神様ヴィダルサスーンの技術を学び、手入れのしやすい、髪を痛めない、指ぐしで流れが出来るスタイル作りをめざしました。

また、スタッフが増えてくると人材教育、技術のうまい人、とにかく気持ちのいい人を育てることを目標に一生懸命歩いてきた三十年でした。

この間、いろいろな方々とお出会いし、多くの方々が細腕の私を励まし支えてください

ました。そのお陰で今日の日を迎えることが出来たものと感謝の気持ちで一杯です。

これからも人と人のつながりを大切にし、無理をせず地道に頑張っていきたいと思っております。

女性会におきまして、本当に力不足の私ですが、今日まで役員をやらせていただいたのは会員の皆様方の温かい励ましのお言葉やお力添えのお陰によるものと心から御礼申し上げます。よりよい地域社会を築くために、女性会の皆様との連携協力を深めながら、私も微力ながら精一杯頑張りますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



私は最近、胃の不調が続いていたので、思い切って病院に行き、鼻からの内視鏡検査を受けました。胃カメラというものです。モニターに写る自分の胃を見て、何か出来てはいないかとハラハラどきどきしていました。鼻からの内視鏡は口からのと違って、かなり楽でした。その結果、赤みがあった胃には潰瘍ができていました。少し細胞を取って調べられ、ピロリ菌が多くいるという結果が出ました。

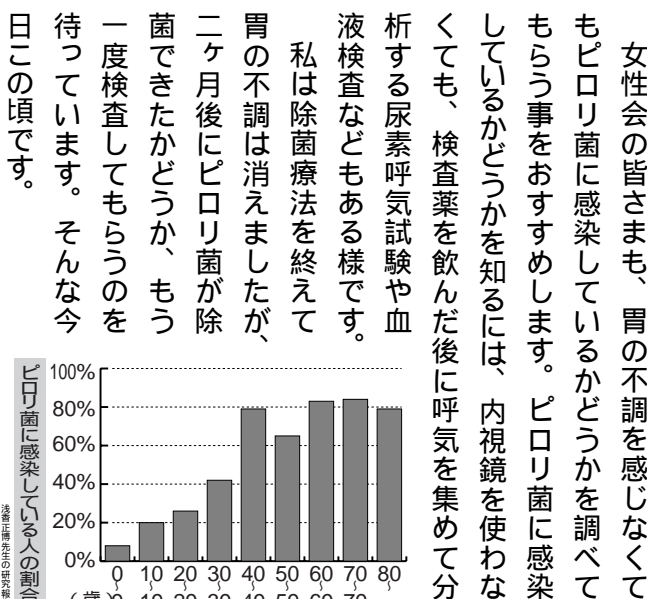
## ピロリ菌

平井 さち子

このピロリ菌とは、小さな細菌で数本のしっ

ぼがあつて、ヘリコプターの様に回転させて胃の中を移動する事から、「ヘリコバクター・ピロリ」と名付けられたそうです。若い人より四十歳以上では約八十%の人がピロリ菌に感染しているらしく、私もその一人でした。ピロリ菌は、治療しないで放置しておくといくらでも増殖し続け、急性胃炎や慢性胃炎、さらには胃ガンを発症したりするそうです。一九九四年にWHOが、ピロリ菌を胃ガンの発ガン因子と指定しました。でも、ピロリ菌を退治する(きちんと一週間薬を飲む)事によって、胃潰瘍とくに十二指腸潰瘍の再発が抑えられるとの事、私はちょっと安心しました。でもその薬による副作用で、味覚異常が出たのでしばらく苦しい思いをしました。

女性会の皆さまも、胃の不調を感じなくてもピロリ菌に感染しているかどうかを調べてもらう事をおすすめします。ピロリ菌に感染しているかどうかを知るには、内視鏡を使わなくても、検査薬を飲んだ後に呼吸を集めて分析する尿素呼吸気試験や血液検査などもある様です。私は除菌療法を終えて胃の不調は消えましたが、二ヶ月後にピロリ菌が除菌できたかどうか、もう一度検査してもらったのを待っています。そんな今日この頃です。





# 琵琶説法より学ば

村井 光子

今夏の尋常でない暑さも朝夕には秋を感じる今日この頃です。

先日、本山の仏教婦人連合会の研修で、船木町の西願寺さんの副住職、金森昭憲様の琵琶説法を拝聴させて頂いて戴く機会に恵まれました。三十二歳の若いお坊さんでしたが、見るからに「お寺さん」と思われる立派なお方でした。平家物語の一節より、戦国時代とはいえず、自分の息子と同じ年頃の若い十六、十七歳位の敵の大将、平敦盛の首を取ってしまった、許してほしいの一心で、弓も矢もすべてを捨てて、仏門に入り、一生を甲いに捧げた「熊谷発心の一生」を、琵琶を弾きながらの説法でした。

私も、又一緒に聞かせて戴いた皆様も感動いたしました。今の時代にも、言葉による暴力もあれば又、力による暴力もあります。何事も今一度時をおき、振り返ってみると、腹の立つのも和らいでくる様に思いました。

夏の一時、人生の良い勉強をさせて戴き本当に感謝し、改めて「有り難う御座いました」と言葉に出てまいりました。



# 近江八幡開町の祖 豊臣秀次

高木 茂子

約四百年前、近江八幡を開き夢を馳せた青年大名豊臣秀次公は十八歳の時、天正十三年（一五八五年）近江二十万石に蒲生・神崎・野洲の三郡と大和国の一郡、更に補佐役として付属する宿老の封地を含めて四十三万石の大守として八幡山城を築きました。秀次公十九歳の時、池田恒興（大垣城主）の娘と結婚し、諸役免除（無税）・楽市楽座（自由市場）などの十三力条からなる掟書（八幡山下町掟書）を公布し、住民を手厚く保護しました。

秀次公は湖上交通に着眼し、全長六kmの運河「八幡堀」を設け、堀割（八幡堀）の両端を琵琶湖につなぎ、湖上を往復する荷船は八幡堀に入る事を定めた為、八幡には多くの人が立ち寄り、多くの物資や情報が集まりました。また、街道の整備や町民の生活を考え、背割と言われる八本の下水道（現在の下水道に匹敵し、日本最古の下水道と言われている）をつくり生活排水を堀割に流しました。秀次公は八幡山城在城五年間という短い間に、まちの活性化を図り住民と苦楽を共にすることの出来る「まちづくり」を目指しました。結果、八幡堀をつくり、八幡商人を排出するなど、現在の近江八幡を顕彰する上で欠かせない存在なのです。山下町の西半分は低湿地帯を埋めたために、住人は飲料水に困りましたが、後に

は源水地を町外に求め、親井戸から竹の管を敷設し共同井戸をつくりました。これは現在の



上水道に匹敵するもので、水を重んじる町ができました。平成十八年には重要文化的景観第一号に指定された水郷地帯をはじめ、素晴らしい自然と文化があふれる町となりました。

再生の時代といわれていますがまさに今、町のよさを多くの市民が知り、守り伝える事、協働で新しく生み出す事をひとりひとり心がけたいものです。「温古知新」若者たちの熱いエネルギーと経験豊かな大人たちの二人三脚であり重たすぎず、上手く世代に継ぐことが出来、近江八幡ブランドを品格あるものに、市民のプライドとして町の素晴らしさがいつまでも持ち続けられるようにと思えます。

八幡まつりが証するように、千年前より人々が暮らし、戦国の時代には秀次公の町づくり、江戸期に八幡商人、明治大正にW・M・ウォーリズ、昭和には八幡堀再生をはじめ市民運動が成されてきた町です。是非、平成の時代にあつた、あわてずゆつくりと町づくりが続けられることを願い、活動が続けていきたいと思えます。

一万石とはその領内の田んぼで収穫できる米の総量で、一万人が一年間に食べる米の量ということになります。

# バトンタッチ

川島 昌子

平成十二年の第十二号に後継者のことで掲載させていただきました。

早七年、お腹の中にいた孫が今年是一年生になりました。

社会の変動が激しいものですから、あつという間に年数が経って行きます。

後継者として願望していました長男にバトンを渡すことになりました。何よりもうれしいことです。

実際は「バトン」を渡さざるを得なくなった」ということが現状だと思えます。

昔からの風習、仕来たり、物の見方、考え方の変化が大きく、我々年長者はついて行けません。まして日本人の義理、人情を基盤として成り立っているギフト店だからです。

新しい現代人の見方、考え方に乗ったやり方に対応しなければ企業としてやって行けません。難しいですが移り変りのはげしい変化に対応できる方針を打ち出し、又変化させ突き進んでもらいたいと願っています。

本当にご苦労さまです。「企業は継続なり」継続して世間に認められ、お客さまより信頼が得られるのです。

今 私は、息子家族に感謝と激励のエールを贈っています。

昔は「こ隠居さん」とよく言いました。

今どき隠居していられるでしょうか。

元気な間は何らかの力として、年長者は年長者の役割があります。

陰になり日向になり、後押しをして行かなければ企業としての維持、発展はあり得ないと思えます。



## 近畿商工会議所女性会 連合会総会に参加して

太田 悦子

猛暑だった今年の夏もようやく一段落した去る九月十一日、大阪大会が「ホテルニューオータニ大阪」を会場として行われ、参加することが出来ました。まず会場の素晴らしさ、華やかさに目を見張りましたが参加人数八百四十一名と聞き、二年前の近江八幡大会は九百十一名の参加者だったことを思い出し、あらためてよくぞこの小さな町にあれほど沢山の方が集まって下さったことだと感謝の気持ちがよみがえりました。総会に続いての講演会は大和ハウス工業(株)代表取締役会長の樋口武男氏で、いつの時代も世の中の変化をいち早く読みとり、天下を先どりする、つまり「勝ち残る」のではなく、「勝ち進む」経営でなくてはならないということをお話しされ、私は小さな商売人の一主婦という立場ではありませんが、この講演でお聞きしたことを少しでも頭の隅におき日々過ごしたいと思いました。

その後懇親会になり、アトラクションは音楽家であり、テノール歌手の加藤ヒロユキ氏の公演で、心に沁みいる素晴らしい歌声とピアノ、ヴァイオリンの演奏に酔いしれたひとときでした。全国、近畿それぞれの商工会議所女性会総会に参加させていただくたびに、出席者の皆様のパワーに圧倒されつつも何か元気をいただける気持ちになり、又、来年の奈良大会にも出席できることを念じています。

## 家族の力

久保田 操

私達の念願だった、我が店(家)をこの度新築させて頂く事が出来ました。建て替えなくては…という必然性から十年もの月日を重ねてしまいました。その間、「商店街の活性化」のコンサルタントの方の指導も頂き、一八〇度展開の御指導でした。そして何よりも有難く感じた事は、息子達が、家を出ている者も、一人一人が一丸となって、力を出し合って、アイデアを出して、頑張ってくれた事でした。一人一人が小さな役割ではあっても、家のために尽すという大きな山を動かしてくれた事でした。もう年齢(とし)やから…もういいやろうと引いている自分に、息子達は、そんな消極的な事ではいけないと発する言葉の一つ一つにも、前向きに頑張らなあかんと、教えられている毎日は。

観光で近江八幡を訪ねて下さった人々に、もう一度あの店に、あの街に行こうという気持ちになって頂ける様、頑張っていくつもりです。又私達を支えて下さった多くの皆様に、この紙面をお借りしてお礼を申し上げ、「ダイニングカフェ久保田家」の開店の御挨拶をさせていただきます。

本当に有難うございます。



## 私の楽しみ

若林 幸代

私も年齢を重ねて来たと言うことでしょうか？ 若い頃は寺院巡りや季節の良さに気が付かないと言いか、まったく関心の無かった事に、ここ数年前から興味を持てる様になりました。又、そんな自分自身に驚いてもいます。四季折々の移り変わりや、のんびりと色々な寺院へ行ってみたり、又、観光名所を訪ねたり、それが嬉しく、楽しく感じられる様になっています。今までは何とも思わなかった滋賀県。さて、よく考えてみると近場でも知らない所ばかりで、なんと、井の中の蛙“な事かと反省し、休みを利用して出来るだけあちこちへ。あゝあ、私は地元こんな素敵な場所がある事を今まで気付かず生きて来たんだと痛感する事もしばしば。

それから滋賀県が私自身の自慢にも成り、とりわけ近江八幡は大好きです。が、他府県

にも、ちょっと浮気心を出して足を延ばしていそいと……。自然が心を癒し、また新しいエネルギーを与えてくれる、なんとも言えない満足感。お寺の庭を眺めて、ポーツとしている時間も必要でイイ事ですよ。それから、その土地の美味しい物を頂いて、ホッと一息。時には露天風呂から外を眺めて「うわあゝ幸せやなあ」と若い頃には解らなかつた感激が、さあ、明日から又、頑張ろうと自分を励まし、心新たに。

さてさて、今秋は何処の紅葉を愛でに行こうかと今から、ソワソワ、ワクワク……でございます。



## 道はどこまで

藤木 恵美子

この頃、時折知らずして、もの思いに更ける時がある。人間の成長期、とんでもない、人生の曲り角を何度も曲り回って、今ここに私がいる。遠い昔、高い希望に夢をのせ楽しかった若い日々、何もかもすべてが若かった。夢はどうした。どうなった、お願い聞かないで答えがありません。今はお恥しい困難と苦悩を模索して、まだまだ道半ば、人生とは何ぞや、誰か教えて……。こんな時ほんの少しでも知恵を貸して頂けたら、朝日が昇ること、心の闇を少しでも明るく照らしてほしい。でもこんな甘えは許されない。これが人生なん

だと何度も自分に言い聞かせて。

あこがれの人生はバラ色、バラ色と言えばピンクでしょうか？ ピンクと言えばそう随井会長。美しいピンクが大好きだとの事。又ピンクがよく似合って花咲く乙女の様、いくつもの芸事を極められ、人徳と人望が重なって、近江八幡商工会議所女性会の華そのものです。その優しい笑顔と姿は輝いて本当に美しい。でも会長の心の奥底までは知り得ません。いつか女性として人生の生き様を私達に教え導いて頂く日の来る事を心から願っています。

冠句の初投句で「峠超えやこここまで目に涙」で巻を頂いた事があります。小さな峠を越えつつある今、目の前にある峠をいくつもいくつも超えなければ私の人生、夢ははかなく消え去る事になります。「おい、どうした、がんばれ」と背中を押してくれる人は、悔いがない人生。ああ幸せでしたと云える日の来るまで私は自分の力がんばります。果たして本当に頑張るでしょうか？不安でいっぱいです。無力で答えの出せない自分が歯痒い今の私には、もう二度と夢を描く力も時間もありません。背中を押され、追われるままに終らない道をひたすら走り続けなければなりません。心の窓に美しい花を咲かせましょ。赤い花白い花、私の好きな言葉です。でも私は黄色の花が大好き、こんな私を笑ってウア、アハハハハ 自分で笑って どうするのよ「バカ」

## 扇伊醤油醸造店

住所:近江八幡市博労町上5  
Tel:0748-32-2314



岡田 眞佐子 さん

醤油の製造販売とプロパンガスの販売をしています。近江八幡市内では醤油を製造し販売している店はほかにはありません。大豆を蒸し、小麦で炒って粉砕したものを攪拌かくはんし、塩水につけて80度の蒸気で炊き上げるといった、時間と手間をかけておいしい醤油が出来上がります。当店の醤油は昔ながらの味を大切に、塩分は控えめです。サシミ醤油、濃口醤油、淡口醤油の3種類があり、お客様のご要望にお応えして、一升瓶だけでなく少量の醤油も販売するようになりました。醤油は日本の食卓には欠かせないものであり、殺菌効果もあ



ると言われています。観光に訪れた人が珍しいと買って下さることも、扇伊醤油のものが一番おいしいと言って下さる方もいらっしゃいます。近郊はもちろん野洲や草津にも配達をしています。店番の仕事以外に生け花を教えています。中学生のとき母親に勧められ、気が進まないまま始めた華道でしたが、今では教える側の立場になりました。ボランティアで高齢者の方たちと食事をしたり話し相手になったり、一緒に小物を作ったりしています。材料費がかからなくて老人の方でも簡単に作れるものはないか、いつもアンテナを張り巡らせています。割り箸やよじ



など身近にあるものを使って出来るものを作るのも楽しいものです。時間があるときには趣味のパッチワークをしています。自分が作ったパッチワークと生け花でいつか展覧会を開くという夢をもっています。毎日が楽しくとても充実しています。

## 井上硝子工業株式会社

住所:近江八幡市武佐町471  
Tel:0748-37-7651  
http://www.bin-ichiba.jp



井上 和子 さん

創業120余年、ガラスピンを製造している老舗です。ピン屋と言われるくらいピンの生産量が多く、取引先は全国各地に及び、信用をいただいています。4年前に主人が社長を退き、息子が社長に就任したのを機に、私も現役から引退しました。引退したときは忙しさから開放されるといってうれしさがありましたが、その反面さみしさや心配もあり、いろいろな思いが交錯しました。現役のときは事務の仕事以外にも、従業員の話し相手になり悩み事があれば相談にのるなど、母親のような役割を果たしてきました。家庭では5人の息子の母親であり、家事、育児



にと忙しい日々を過ごしてきました。その息子たちも4人は家業を継ぎ、1人はガラス工芸作家としてがんばっています。このように忙しい日々を送りながら、今までに何力国もの交換留学生を受け入れてきました。なかなか行くことができない、その国の人や文化に触れてみたかったのかも知れません。実際、その国の文化や言葉など多くのことを教えられました。特に印象に残っているのはスウェーデンからの留学生です。彼は半年間滞在し、私の息子たちとも仲良くなり、今でも親交があります。このすばらしい出会いは、私たち家族にとっても貴重な経験になりました。

今までは家族のため、会社のためとそれだけを考えてきましたが、ようやく自分のための時間が持てるようになりました。これからは何か社会のお役に立てるようなことができれどと思っています。その一つが、以前から少しお手伝いをさせていただいている、障害者の支援です。障害を持つ人達が自立されることを願い、1人の人として理解される様、お手伝いしたいと願っています。





# おびやま ひます!!

## 秋桜(コスモス)

住所:近江八幡市鷹飼町1570  
ロイヤルトップビル2F  
Tel:0748-32-1848

ピクチャーエンタテインメント株式会社  
湖上恵美 こと

### 福岡 照恵さん



平成3年に店をオープンしました。店の秋桜コスモスという名前は、一輪でも力強く、そして可愛らしく咲き、誰にでも愛される、そんな秋桜の花が好きで店名にしました。お店に来られるお客様は30代位から80才代と年齢層広く、女性1人様でも気楽に来ていただけるお店です。

もともと歌が好きで、以前の店で歌っている時、プロにならないかとスカウトされ、秋桜オープンと同時にデビューとなりまし



た。母子舟「あなたが欲しい」の2曲に続き、平成4年に、近江八幡音頭「夫婦花道」と出させていただき、色々な舞台にて歌ってまいりました。毎日3時間から長い時は、5〜6時間のレッスンを日課です。私にとつてお店は舞台でもあり、歌と店を切り離して考えることはできません。そのせいか自然と歌の好きな方々が店に集まって来られ、好きな歌をおもいきり歌われる方、フンポイントレッスンをお願いされる方、私の歌に耳を傾けて下さる方とさまざまです。歌を通して、お客様同士が仲良く楽しそうにされていると、とても嬉しくなりますね。たまに簡単なお袋の一品をお出しすることもあります。

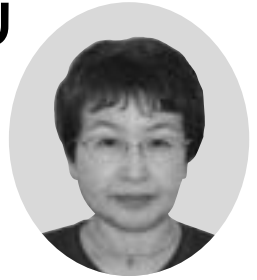
店が休みの時、空いた時間は殆ど歌に費やしています。応援して下さる皆様のおかげで今の私がある訳ですから、お礼と御期待に添

えるようにと思い歌うことが、私の励みにもなっています。今取り組んでいることは、もう一度子供の頃楽しく素直な気持ちで元気いっぱい歌っていた、あの頃の自分を思い出しながら体の内から湧き出るような、個性的な演歌が歌える様、日々レッスンに励んでいます。歌を聞いて下さる方のため、そして自分自身の成長のためにも、いくつになっても歌い続けて行きたいですね。



## 株式会社タカモリ

住所:近江八幡市鷹飼町454-5  
Tel:0748-33-6221  
Fax:0748-33-6226  
E-mail:info@takamoli.co.jp



### 高森 伊世子さん

先代が仲屋町に店を構えたのが昭和10年です。昭和55年からは駅前にも出店し2店舗にて営業中です。現在は3代目となる息子夫婦・甥とともに駅前店で頑張っています。私は主に時計や宝石を担当していますが、他にも眼鏡・補聴器などを取り扱っております。リーズナブルな商品から高級品まで幅広く揃えて、お客様の細かなニーズに添えています。

この業界で何代も商売が続くのは稀なこと



す。後継者に悩む同業者も多いのが現実です。大変な事も多いのに、継いでくれた息子達には感謝しています。

代替わりをしてからはお客様も若い方が増え、ますます幅が広がりました。それに対応できるように、幅広い商品層で迎えられるよう努力しております。

また、他店との差別化を図る為、「このお店に来てよかった」と言われるようなサービスを提供したいと思っております。例えば、店舗まで出向くのが難しいお客様には送迎をしたり、他店にはない商品を取り扱いしたり



：そういった努力が実を結び、お客様に満足して帰って頂けた時は、とても嬉しいです。

これからもひとりひとりのお客様を大事に営業していきたいと思っています。

私は昔から、絵を描いたり音楽を聴いたりするのが好きでした。孫が油絵教室に通っている影響を受け、私も描きたいと思うのですが、時間がなく今のところは鑑賞専門です。また、宝塚歌劇団も大好きで、近江八幡市出身の宝塚女優、穂月はんさんの後援会にも入って応援しています。旅行に行くのも好きで、この春は孫達と一緒に北海道へ行ってきました。

またこれからはゆっくり美術館めぐりでもしたいですね。

# 平成19年女性会ではこんな活動をしてきました。

第19号発行以降の活動を掲載しています。

## 平成18年11月6日 女性会第1回会員交流座談会

女性会活動のほかに様々な活動をされている会員との相互理解を考えたら、会員が講師となり、交流の場をもつてはどうかとの意見で開催することになった会員交流座談会。第1回目の講師は中江しげ子さん。市議会議員になった経緯や務められ、体験したことを話された。



会員交流座談会

していることや一日一度は大声で笑うことが免疫力を活性させることなどを話された。

## 11月25日 八幡山ロープウェイ主催 「八幡山城址 秋の特別茶会」開催協力

女性会に協力依頼があり7名が出役。天候も良く、秋の行楽シーズンということもあり、紅葉の八幡山は大勢のお客様で賑わった。



八幡山城址 秋の特別茶会

## 平成19年2月7日 市長と商工女性と語る会・新年懇談会

毎年恒例となりました市長と商工女性と語る会・新年懇談会。随井会長から、昨年は四季に合わせた研修企画をと思見を出し合いながら事業が出来たことにふれ、今年は亥の一番で、亥亥歳でありますようにとの挨拶で新年初めての会をスタート。語る会では富士谷

新市長から、「元気なまち、市民の智慧が活かせるまちづくり」と掲げられ、市民の立場に立って市政に反映したい。自分が正しいというおごりをなくし、民意を活かせるように進めたいと話された。新年懇談会では引き続き、来賓に富士谷市



市長と商工女性と語る会

長、北川産業経済部長、木俣商工観光課長、会議所から野瀬副会頭、山田副会頭、岡田専務理事をお招きし、野瀬副会頭の乾杯のご発声で開会。新年初めの和やかな親睦の場となった。

## 4月17日 平成19年度定期総会

毎年総会は会議所内で開催していたが、どこか別の場所での話して、大津商工会議所女性会副会長をされている叶匠寿庵・寿長生の郷で開催。21名出席（委任状7名計28名）が出席。随井会長を議長に議事進行。全ての議案事項満場一致をもって可決承認された。近江八幡女性会にふさわしい自分達の行動可能な形で、今一歩進んだ活動を皆様とともに歩んで行きましようとの挨拶され、今年度事業への意気込みとなった。



平成19年度定期総会

## 4月20日 県商女性連定時理事総会

叶匠寿庵・寿長生の郷にて正副会長出席 県下7女性会の正副会長による理事総会。全ての議案事項満場一致をもって可決承認された。総会後の講演会では、メタボリックシンドローム、動脈硬化から心臓病について学び、肥満による複数の生活習慣病や、その他の病気になる要因は、体内が脱水症状になっていることが多く、日頃の心がけて予防ができ、改めて

## 11月21日・22日

## 第38回全国商工会議所女性会連合会三重全国大会

3年に1度の全会員が参加できる全国大会。三重県営サンアリーナに全国325女性会3204名が集結。21日は、県商女性連視察研修会として、「シャープ亀山工場」「ミキモト真珠島」を見学し、夕方から大懇親会へ、22日の総会では今年5回目となる「女性起業家大賞」発表・授賞式や本連合会委員会活動報告をされた。記念講演会では、東京医科歯科大学名誉教授藤田紘一郎氏による「最新の免疫力をつける食生活と笑いまで」と題して、昨今の殺菌・抗菌で人体を守っている菌まで排除



第38回全商女性会連三重全国大会

健康管理の大切さを確認できるいい機会となった。

5月21日

### 県商女性連先進地視察研修会

10名が参加。県下7女性会持ち回りで会場を回しているが、今回は彦根さんが担当。今年彦根城が築城されて400年を機に彦根城と城下町・彦根の歴史や文化を貴重な財産として次世代に引き継ぐとともに、新たな飛躍・発展を目指して、「再発見と新創造」を基本理念に『国宝・彦根城築城400年祭』が開幕中で、県下女性会のみなさんに是非とも来て欲しいということで実施された。近くて遠い県内。天気に恵まれ、いいウォーキングの機会となった。



県商女性連先進地視察研修会

8月5日

### 第22回八幡てんびんまつりに女性会チャリティバザーを開催

市役所前駐車場特設会場で、福祉事業活動への一助にあてるため、チャリティバザーを開催。15名が出席。今年も暑さに耐えるなが、がんばった。夜は総おどりにも参加した。

### 9月4日 女性会人権学習研修会

近江八幡市高齢・障がい生活支援センター/高齢支援（主任ケアマネージャー・社会福祉士）センター長補佐の森村敬子氏と相談支援担当/保健師の井上千尋氏に講師をお願いし、『もっと知ろう！認知症について』



第22回八幡てんびんまつり 総おどり

と題して、認知症に感心

をもち、認知症の方への対応を正しく理解し、認知症は病気であることを周りが認知すること。他人事ではない病気、特別な病気ではなく、誰にでも起こりうる病気であることを知ったうえで、勝手な判断をせず、医療機関でお医者様の診察を受けてはつきりさせることが大切。お薬で症状が改善される場合や普段の生活の中で防ぐ方法として、全ての機能低下を防ぐために、脳の活性化、ストレスを溜めない、バランスの良い食生活、程よい緊張感があること（他人との関わりが大切）など、これからは知っていて当然の病気のひとつとしてあげられることを知り、今後、家庭や地域での関わりがいい機会となった。



女性会人権学習研修会

9月11日

### 第19回近畿商工会議所女性会連合会総会 大阪大会出席

「毎度おおきに！「賑わい」「笑い」なわのまち」をテーマに近畿2府5県56女性会より、841名が大阪に集結。ホテルニューオータニ大阪にて開催され、当会より10名が出席した。長谷川近商女性連会長・大阪女性会会長挨拶では、近畿のみなさんを大阪にこれだけ多くお迎えできた嬉しさと御礼、今回新たに2女性会が加盟され、54女性会から56に増え、近畿の女性会のネットワークを活かし活動していきましよう」と挨拶された。各議事案ともに満場一致で可決承認され、この議事案のなかには、会則の変更と名誉会長の委嘱が行なわれ、尾崎名誉会長が挨拶された。次回平成20年開催地である、奈良商工会議所女性会三橋会長から来年への参加をアピールされ閉会。引き続き、講演会で

は、大阪商工会議所副会

頭で大和ハウス工業株式会社代表取締役会長兼CEOである樋口武男氏による「勝ち進む経営」私の経営観」と題して、小さな頃に自身が経験した「小さなことでも、うそごまかしはいけない、ダメなこと」を身をもって知ったことから、うそのない経営に至っていること。人との出逢いによって、人は磨かれ成長する。会社には生産の4要素「人・機械・材料・方法」が大切で、ひとつもかけてはダメ。常に先の先を読み、偉そうにするのは一番良くない、と話され、有意義な講演会となった。今回は、平成20年11月7日(金)奈良県で行なわれる。



第19回近畿商工会議所女性会連合会総会

10月5日

### 第39回全国商工会議所女性会連合会 富山総会出席

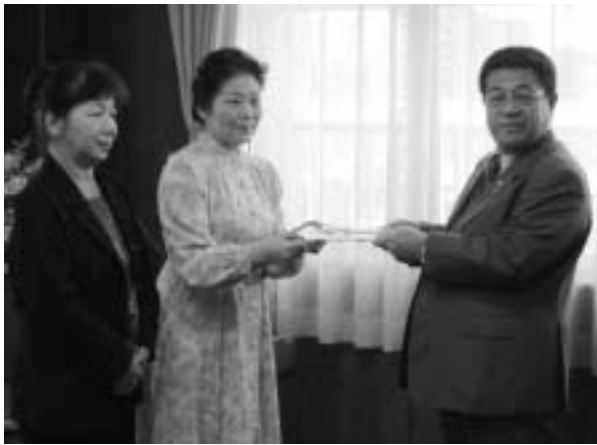
正副会長のみ出席の富山総会。富山国際会議場に全国281女性会より910名が集結した。今年で第6回目となる「女性起業家大賞」発表・授賞式や本連合会委員会活動報告をされた。記念講演では、富山市長森雅志氏による「人口減少時代を見据えたまちづくり」と題して、中心市街地活性化基本計画全国第1号を受け、現在富山市で取り組まれているまちづくりについて話された。今回は、平成20年11月27・28日に全会員参加の沖繩大会が開催される。



第39回全商女性連 富山総会

# 近江八幡市へ福祉機器寄贈

てんびんまつりに女性会チャリティーバザーを開催



近江八幡市役所市長室にて  
富士谷市長と随井会長、中江委員長

当日の収益金を、柏崎商工会議所女性部へ新潟県中越沖地震義援金として寄付しました。また、福祉事業の一環として近江八幡市へ無線振動・光・双方向呼出器「合図くん05」という呼出器を3セット寄贈しました。ボタンでお互いに呼出「合図」応答「」ができ、見通し100m以上の送受信が可能ということで、さまざまな場面で利用していたければ幸いです。



合図くん05



会長の文書とお見舞

11月13日(火)、随井会長、中江委員長が富士谷市長を訪問し、「市の福祉事業にお役立てください」と目録を手渡しました。今年で15回目を数え、今後も地域の社会活動に貢献できるように、積極的に取り組んでいきたいと考えています。



柏崎商工会議所女性部会長 品田信子様より  
いただいたお礼状

## 女性会 会員募集

平成21年で20周年を迎え、会員を募集しています。女性ならではの研修事業や、いろいろなイベントを通じて交流しながら、一緒に楽しく活動しています。是非、新たなネットワークづくりにご参加ください。

### 入会資格

近江八幡商工会議所の会員事業所の

- 女性経営者
- 経営者の妻  
または 家庭で経営に関与している女性
- 職務上要職にある女性

### 活動内容

- 「環境」 奉仕活動 □ 人権問題研修会 □ 新年懇談会  
□ …… 第一委員会
- 「研修」 広報誌「あすなろ」発行 □ 市内研修会  
□ …… 第二委員会
- 「福祉」 てんびんまつりチャリティーバザー  
□ …… 第三委員会

その他にも、娯楽活動や学習会など多彩なイベントをおこなっています。

### 編集後記

長かった残暑がようやく終り、心地良い気分になったのもつかの間、朝夕の冷気が身に沁みる季節となりました。「あすなろ」も今回で第二十号の発行を迎えることになりました。今回もお忙しい中、原稿をお寄せいただきました皆様ほんとうにありがとうございます。おじゃまします!! のコーナーは第十九号より四名様を掲載しております。年一回の発行ですが、全委員長を順次紹介していきたいと思っております。今後共、より楽しく充実した内容になりますよう会員皆様の御協力をお願い致します。

E・O